

第42回山形県俳句大会

作 品 集

事前投句による紙上大会

令和2年8月

主催 山形県俳人協会

第四十二回山形県俳句大会受賞者

阿部 月山子 選

特選

- 27 岩百合やブルーシートの屋根未だ 酒田市 白旗いちこ
 31 虫送り葉山天狗の白化粧 鶴岡市 木村 慶子
 310 山刀伐の櫛の頂辺つるでまり 鶴岡市 小玉 フミ

秀逸

- 37 村あげて流木ひろひ浜豌豆 鶴岡市 小玉 フミ
 154 梶の葉を桶の蓋とし野点かな 東根市 土田 薫
 202 川の面に火の粉こぼるる虫送り 南陽市 佐藤 正代
 303 遠郭公錦帯橋の夜明けかな 天童市 丹 まさよ
 357 菅貫の羽黒山の空をくぐりけり 山形市 伊藤 厚子
- 佳作
- 89 雨蛙芭蕉の発ちし船着き場 鶴岡市 齋藤キミ子
 102 合歡の花芭蕉下船の舟着場 庄内町 齋藤八重子

鈴木正子 選

特選

- 471 油照り藁の乳房の鹿島さま 鶴岡市 栗原 愛子
 441 強面の三井寺を舞ふ袴能 川西町 金子つとむ
 379 螢飛ぶ消防団の打ち合せ 山形市 伊藤 ふみ
 327 焼麩屋の油麩ありと夏暖簾 東根市 青山 君代
 322 草いきれ粗塩舐むる孕み牛 山形市 横道輝久子
 279 せせらぎや白壁沿ひの杜若 東根市 結城トミ子
 258 畦あとの残る捨田や時鳥 鶴岡市 木村 慶子
 112 清清し白磁の皿にさくらんば 鶴岡市 本間 まり

秀逸

- 132 足太き岬の馬に虹たてり 山形市 伊藤 ふみ
 368 几帳面な質あらはなり草取女 山形市 横道輝久子
 437 老鶯や杜に鎮座の禁酒甕 鶴岡市 牧 静
- 170 毛虫とて一目散といふ歩幅 山形市 横道輝久子
 236 生き延びてたつた一人の冷奴 白鷹町 竹田 秀
 259 家を出ぬ暮しといへど更衣 米沢市 小島 緑泉

329 古本屋主は紙魚と住みにけり 山形市 渡辺 幸則
 402 頂は五郡の境夏霞 上市 石井 浩吉

佳作

22 父の日の懇ろに押す車椅子 山形市 鈴木 あい
 84 福の豆足元の物拾はれず 山形市 矢萩はじめ
 110 コロナ禍や心繋ぎしさくらんぼ 西川町 工藤 稲邨
 198 徒競走めきて駆けゆく雉親子 東根市 阿部小夜子
 278 遠雷や鎌研ぐ腕のせはしくて 白鷹町 岩崎 武雄
 335 復興を語る漁師の日焼顔 山形市 伊藤 厚子
 376 廃窯の陶の欠片や晩夏光 山形市 志謙惠美子
 444 朝すでに鯛の木となつてゐし 鶴岡市 齋藤 峯男
 474 真筆に注ぐまなざし蟬しぐれ 鶴岡市 栗原 愛子
 476 一人居の残る気力や月見草 山形市 高橋たけ子

黒坂重政選

特選

19 梅雨深し石屋が刻む鉦の音 山形市 折原 廣子
 97 廃校に彫られし校歌花は葉に 鶴岡市 上林 千代

秀逸

256 半眼の薬師如来や夕薄暑 山形市 志謙惠美子

佳作

12 紫陽花の咲き誇りたる売家かな 山形市 田中 教仁
 26 神将の眼光険し五月闇 山形市 志謙惠美子
 110 コロナ禍や心繋ぎしさくらんぼ 西川町 工藤 稲邨
 170 毛虫とて一目散といふ歩幅 山形市 横道輝久子
 423 野辺送り追ひかけてくる蟬時雨 山形市 鈴木 周子
 2 山峡の寄せては返す青田波 山形市 大井田千代子
 16 日暮まで遊びし頃や河鹿笛 山形市 竹田 朝子
 73 現し世を行きつ戻りつ夏の蝶 河北町 渡辺 洋子
 85 防空壕開ける八月十五日 東根市 菊地みさ子
 125 夏座敷対角線の風通し 白鷹町 新野美佐子
 222 水喧嘩知らぬ世代や農を継ぐ 山形市 栗原ただし
 297 止みさうな声吹きかへす油蟬 舟形町 中鉢 時雨
 364 万緑に呑み込まれたる無住寺 白鷹町 山口 恵子
 457 小走りの巫女の行き交ふ夏祓 山形市 武田志摩子
 462 郭公の澄み渡りたる遠月山 寒河江市 国井 菊子

伊藤 寛選

特選

- 227 傘さして茅の輪くぐるを許されよ 山形市 伊藤 ふみ
- 334 三十を過ぎて未婚の冷奴 東根市 富樫 正義
- 350 デイズニーに続くトンネル蟬の穴 上市市 堀川 栄助

- 293 走馬灯積もる話も尽きにけり 山形市 武田 菜美
- 313 再会の句会和やか額の花 天童市 川崎 典子
- 391 紫陽花の中に自撮りの留学生 鶴岡市 成澤 礼子
- 393 出羽富士へ続く轍や夏薊 鶴岡市 池田 春斗
- 450 あんみつや妖怪談義三少女 山形市 野々村綾子
- 473 石灯笼灯して涼し朗読会 鶴岡市 栗原 愛子

秀逸

- 4 水遊びによろによる動くホースかな 東根市 結城トミ子
- 34 口笛は前を行くあの登山帽 米沢市 小島 緑泉
- 76 グラマーな蚊は付け睫毛して寄り来 上市市 堀川 栄助
- 154 梶の葉を桶の蓋とし野点かな 東根市 土田 薫
- 259 家を出ぬ暮しといへど更衣 米沢市 小島 緑泉

佳作

- 202 川の面に火の粉こぼるる虫送り 南陽市 佐藤 正代
- 245 どの道を歩いても海ソーダ水 山形市 横道 啓一
- 250 老鷲の声連れ去りし通り雨 山形市 三澤カツコ
- 274 雨の夜は金泥となる金魚かな 山形市 戸田 正宏